

セックスってなんだろう!?

1. 脚本を読んで、ちがう人になってみる。

私の周囲では、ありがちな高校生の会話を用意しました。「えげつなさすぎ〜」「しんどくなっちゃった」「かなしい」といった感想をもつ人もいます。ごめんなさい! そんなときは自由に休憩してきてくださいね。でも、できたら、そんな気持ちを、私に、会場みなさんに、おしえてくださるとうれいす。この脚本の目的は、「自分じゃない人になってみる」「自分ではない人の気持ちを疑似体験してみる」ことです。「目で読む」「声にだして読む」「自分のセリフとして言うてみる」それぞれの段階で、セリフのもつ意味も変化するかもしれません!

*日頃聞いている「名古屋弁」を強引に「関西風」にアレンジ! ムリがあったら、すみません(笑)。

2. 脚本をつかって、経験してみる。

ここはアラタ高校2年1組の教室です。お昼休みに、なにやら男子たちが集まってわいわいがやがや。

～ 第1幕 ～

イクヤ : 自分、もう彼女とやったん?

ウミ : いや。なんか、わっからへんねんな〜。キスしてもいいよとかゆーてきたり、ズボンの上からチンコさわってくるくせに、ちょっとスカートの中に手いれようとしたら、つきとばしてくるしな〜。

エイタ : おまえ、チンコちっさすぎなんちゃうん?

ウミ : どころがや。おまえ、自分がちっこいから、くやしいねんな。

オサム : 最低やな。 そんな話、教室ですんなよ!

男子一同 : こえ〜〜〜〜。すみませんでしたね。

～第2幕～

カナコ : オサム〜、どうしたん? あ〜あ、いってしもた。どないしたんかな〜。

イクヤ : あいつな〜。ほんま、この手の話、きらいやねん。なんでやろな〜。

エイタ : ホモなんじゃね? それか、チンコないとか。

カナコ : エイタ〜。自分、ほんまに、こども? 言うこと、あほすぎるわ。

まっ、だいたいチンコの大きさにこだわってるところで、こどもやけどな。

エイタ : なんやねん。

カナコ : いや、女子的には、たぶん、チンコのおおきさなんて関係ないとおもうで。

『うちららブラブ』っておもいたいだけで。

エイタ : うわっ、おまえ、それ、「経験者は語る」っちゅーやつか。

カナコ : あんたな〜!